

議題

1. 平成 30 年度事業報告について <資料 1>

資料 1 をご覧ください。お認めいただきますようお願いいたします。

2. 平成 30 年度決算報告について <資料 2>

資料 2 をご覧ください。大会補助費の入金は 2019 年 3 月末以降に行いましたので、平成 30 年度支出に含まれておりません。ケーアンドユー社への事務委託費が年間 475,200 円から 685,800 円に値上げになっています。また、昨年度にお認めいただきましたデータベース構築のため、会員情報管理委託費を 1,326,985 円、パイプドビッツ社に支出しました。お認めいただきますようお願いいたします。

3. 平成 31 年度事業計画について <資料 3>

資料 3 をご覧ください。台風のため大会は初日のみ開催とし、口頭発表とポスターは「みなし」発表とすることになりました。代替イベントとして企画した 2020 年 3 月 8 日の総会・シンポジウムも新型コロナウイルス禍のため中止しました。お認めいただきますようお願いいたします。

4. 平成 31 年度予算案について <資料 4>

資料 4 をご覧ください。なお、「事務委託費」の欄には、資料 2 の「事務委託費」と「会員情報管理委託費」をまとめたものを示しています。平成 31 年度は初期費用を要しないため、ランニングコストのみです。お認めいただきますようお願いいたします。

5. 今後の開催校について <資料 5> <資料 6> <資料 7>

資料 5 は、歴代開催校です。令和 3 年度（2021 年度）まで内定しています。令和 2 年度（2020 年度）は、11 月 20 日（金）～22 日（日）に鹿児島大学での開催（準備委員長：富原先生）を予定しています（資料 6）。令和 3 年度（2021 年度）は、比較生理生化学会、動物行動学会との共催を予定しています。詳細は資料 7 をご参照ください。お認めいただきますようお願いいたします。

6. 名誉会員の推戴について（今年度まで有資格の者について）<資料 8> <資料 9>

大井先生と実森先生の推薦がありました。資格を満たしていることを確認し、常任理事会・理事会の了解を得ております。お認めいただきますようお願いいたします。

7. 施行細則改定について <資料 10>

以下の理由から、資料 10 のとおり施行細則の改定を提案させていただきます。お認めいただきますようお願いいたします。

- (1) 事務局が移転したため、学会の所在地を変更する必要があります。
- (2) 令和 2 年度は、理事改選の年です。今年度から会員データベースをパイプドビッツ社のサーバーで管理しています。このデータベースを利用して web で投票する方式（資料 7）を導入したいと思います。web 投票を導入すると、選挙台帳や投票用紙の作成の手間と費用が省けます。また、投票も開票も簡単になります。施行細則では、投票は郵送に限定されているため、施行細則の改定を提案させていただきます。

8. その他

協議すべき事案をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お寄せください。

報告事項

1. 理事長職務の代行について

会則第5条第2項「理事長の職務遂行が困難になったときは、あらかじめ理事長が指名した順序により常任理事がその職務を代行する。」に基づき、中島常任理事が理事長職務を11月1日から代行しています。なお、本件は常任理事会・理事会の了解を得ております。

2. 来年の優秀発表奨励賞の選考について（今年度まで有資格の者について）

奨励賞規程第3条にあるように「奨励賞対象者は、日本動物心理学会の正会員であり、大学院在学中または博士の学位を取得後3年以内の者とする。」となっております。本年度大会が中止になったことで、優秀発表奨励賞に応募できる資格を喪失した会員に対する配慮から、「次回大会に限り、特別に応募資格を1年延長し、学位取得後4年までの者とする」という時限処置案を理事会で決定いたしました。

3. 災害等による大会行事等の中止に関する処置について

今年度は台風によって大会が中止、ウイルス禍によって代替イベントも中止となりました。常任理事会では、大会が中止になった際の常任理事会、理事会、総会、ならびに発表の扱いについての取り決めの策定を検討中です。

なお、今年度の任理事会と理事会はメールにより持ち回り審議で行いました。総会については、学会ウェブページに議案書と説明文を掲示して、会員の皆さまから仮承認をいただいた上で、次年度大会時の総会にて正式に承認いただくこととしましたので、ご理解のほどお願い申し上げます。総会議案書へのご質問は2020年3月20日までにお問い合わせいたします。

4. その他

会員の皆様から、何か報告事項がございましたら、お寄せください。

<資料1> 平成30年度事業報告書

1. 会員異動（平成31年3月31日現在）

- ・会員 409名
 - ・名誉会員 11名
 - ・一般会員 280名
 - ・学生会員 118名
- ・賛助会員 1団体1口 （(財)東京動物園協会）

2. 会誌68巻の刊行

- ・1号（平成30年6月27日発行）、2号（平成30年12月18日発行）

3. 大会の開催

- ・名称：日本動物心理学会第78回大会
- ・会期：平成30年8月28日～8月30日
- ・開催校：広島大学
- ・会場：東広島芸術文化ホール くらら
- ・参加者：170名（一般95名、大学院生61名、学部生14名）
- ・発表件数：口頭発表26件、ポスター発表78件

<資料2>

平成30年度日本動物心理学会会計報告
(78期：平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度日本動物心理学会会計報告

(78期：平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	単位 (円)
前年度繰越金	6,066,887.-
I. 収入の部	
平成27年度年会費 (一般1名)	6,000.-
平成28年度年会費 (一般7名、学生2名)	51,000.-
平成29年度年会費 (一般16名、学生7名)	127,500.-
平成30年度年会費 (一般155名、学生69名)	1,240,500.-
平成31年度年会費 (一般87名、学生17名)	598,500.-
会員寄付 (一般会員3名、学生会員1名、著者印税1名)	12,160.-
賛助会費 (1件)	10,000.-
購読料 (会誌売上)	93,600.-
平成30年度複写使用料 (学術著作権協会)	45,888.-
広告料	80,000.-
雑収入	2,000.-
受取利息	2.-
計	2,267,150.-
II. 支出の部	
会誌制作費 (J-Stageへのアップロード費を含む)	662,148.-
会員情報管理委託費 (30年度分)	1,326,985.-
事務委託費 (30年度分)	685,800.-
例会補助費	50,000.-
諸会費 (心理学諸学会連合会)	15,000.-
奨励賞	42,200.-
旅費交通費	50,460.-
事務用品費	39,992.-
通信費	148,728.-
理事会費用	24,800.-
雑費	4,860.-
計	3,050,973.-
III. 収支差額	△783,823.-
IV. 31年度 (第79期) への繰越額	5,283,064.-

以上のとおり収支を御報告致します。

平成31年10月10日

日本動物心理学会 会長 友永 雅己

監査の結果、適正かつ妥当であることを認めます。

監事 上北 朋子



<資料3> 平成31年／令和元年度（2019年度）事業計画

1. 会誌69巻の刊行

年度開始時点では、1号と2号を年度内に刊行予定。

実際には、1号（資料1本、講演3本）を2019年10月25日に刊行、2号（特集号：総説13本）を同年12月25日に刊行しました。3号（意見1本；資料1本）の発刊を2020年3月に予定しています。

2. 大会の開催

・第79回大会（令和元年10月11～10月13日 開催校：専修大学生田キャンパス）

1日目の自由集会は15:30より9号館2階92Bにおいて、『動物行動実験・解析手法の展開』と題して開催（参加者45名）。3名の演者からラットやマウス、ゾウやウマを対象とした最新の行動実験実施、および解析の手法について話題提供がありました。2日目以降のイベントは、台風19号により全で中止し、一般発表（口頭発表21件、ポスター発表83件）は全て、「みなし発表」としました。なお、大会の収支については監査の上、令和2年度（2020年度）大会の総会において報告します。

・代替イベントの開催（令和2年3月8日 於：専修大学神田キャンパス）

総会・シンポジウム1件で企画しましたが、新型コロナウイルス禍により中止しました。総会前に開催予定であった常任理事会・理事会も不開催とし、議案はメール等で検討しました。

<資料4> 日本動物心理学会 平成30年度予算・決算、平成31年度予算（案） 単位：円

【収 入】	平成30年度予算	平成30年度決算	平成31年度予算
前年度繰越金	6,066,887	6,066,887	5,283,064
過年度会費	300,000	184,500	180,000
当年度会費	1,300,000	1,240,500	1,200,000
次年度会費	580,000	598,500	580,000
賛助会費	10,000	10,000	10,000
会誌売上	120,000	93,600	9,000
雑収入(別刷代等)	5,000	2,000	5,000
寄付(会員、その他)	—	12,160	—
大会校寄付	—	—	—
著作権料	15,000	45,888	15,000
広告料	80,000	80,000	80,000
受取利息	—	2	—
収入合計	8,476,887	8,334,037	7,362,064

【支 出】	平成30年度予算	平成30年度決算	平成31年度予算
会誌制作費	1,000,000	662,148	1,000,000
大会補助費	250,000	— *	250,000
例会補助費	150,000	50,000	150,000
事務委託費	475,200	2,012,785 **	1,019,100 ***
事務用品費	120,000	39,992	120,000
刊行物企画費	—	—	—
通信費	150,000	148,728	150,000
旅費交通費	100,000	50,460	100,000
大会・理事会費用	92,000	24,800	92,000
理事選挙費用	—	—	—
心理学諸学会連合会費	15,000	15,000	15,000
編集部予算	40,000	0	40,000
奨励賞賞金	35,000	42,200	35,000
企画費	—	—	—
寄付・寄贈	—	—	—
雑費	15,000	4,860	15,000
次年度への繰り越し	6,034,687	5,283,064	4,375,964
支出合計	8,476,887	8,334,037	7,362,064

* 専修大学への入金は平成31年度となったため

**前年までの事務委託費に加えて会員情報管理委託費を含めた金額

***事務委託先の値上げと会員データベースサービスの継続利用料

<資料5>

歴代大会開催校 (将来の予定を含む)

昭和31年	慶應義塾大学	平成元年	学習院大学
昭和32年	早稲田大学	平成2年	早稲田大学
昭和33年	東京教育大学	平成3年	中京大学
昭和34年	東京大学	平成4年	慶應義塾大学
昭和35年	東京女子大学	平成5年	青山学院大学
昭和36年	慶應義塾大学	平成6年	北海道大学
昭和37年	東京教育大学	平成7年	大阪大学
昭和38年	東京大学	平成8年	東京大学
昭和39年	大阪大学	平成9年	滋賀大学
昭和40年	東京女子大学	平成10年	名古屋大学
昭和41年	香川大学	平成11年	金沢大学
昭和42年	慶應義塾大学	平成12年	上智大学
昭和43年	早稲田大学	平成13年	関西学院大学
昭和44年	京都大学	平成14年	同志社大学
昭和45年	お茶の水女子大学	平成15年	筑波大学
昭和46年	明星大学	平成16年	大阪市立大学
昭和47年	上智大学	平成17年	千葉大学
昭和48年	北海道大学	平成18年	京都大学
昭和49年	東京教育大学	平成19年	早稲田大学
昭和50年	東京大学	平成20年	常磐大学
昭和51年	大阪大学	平成21年	岐阜大学
昭和52年	慶應義塾大学	平成22年	帝京大学
昭和53年	専修大学	平成23年	慶應義塾大学
昭和54年	名古屋大学	平成24年	関西学院大学
昭和55年	青山学院大学	平成25年	筑波大学
昭和56年	お茶の水女子大学	平成26年	京都大学霊長類研究所
昭和57年	関西学院大学	平成27年	日本女子大学
昭和58年	東京大学	平成28年	北海道大学
昭和59年	日本女子大学	平成29年	東京大学
昭和60年	滋賀大学	平成30年	広島大学
昭和61年	筑波大学	令和元年	専修大学
昭和62年	上智大学	令和2年	(鹿児島大学)
昭和63年	京都大学	令和3年	(北海道大学)

<資料6> 日本動物心理学会第80回(2020年度)大会について

日程

11月20日(金):自由集会

11月21日(土)-22日(日):招待講演, シンポジウム, 口頭発表, ポスター発表等

場所

鹿児島大学 郡元キャンパス(法文学部)

アクセス: <https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>

日本動物心理学会第80回大会準備委員長

富原一哉(鹿児島大学法文学部人文学科心理学コース)

大会ホームページ

<https://sites.google.com/view/jsap2020/home>

*1号通信は5月ごろ発送の予定です。

2019 年 10 月 1 日

松島俊也（北大理）・水波誠（北大理）・和田哲（北大水産）

2019 年 9 月 24 日、3 名が北大理学部で相談をして以下の実施原案をまとめた。

1. 名称は「日本比較生理生化学会第 43 回大会：札幌連携 2021（大会長、水波誠）」「日本動物心理学会第 81 回大会：札幌連携 2021（大会長、松島俊也）」「日本動物行動学会第 40 回大会：札幌連携 2021（大会長、和田哲）」とする。各学会の年次大会としてカウントし、これに「札幌連携 2021」を加える。

2. 3 学会の連携大会として、会場と日程を共有する。それぞれの学会の伝統と企画を尊重し、総会・発表スタイル・言語（英語・日本語）・受付は各学会のルールに従って進める。プログラムを調整し時間割の共通化によって相互参加の利便をはかるが、原則的に 3 学会の企画を同時並行に走らせる。

3. 若手研究者による企画シンポジウム、国際企画（外国などから講演者を呼ぶプレナリーなど）など、一部を全体の合同企画として 1 会場で実施し、これには同時進行する企画を置かない。

4. 日程は 2021 年 10 月 29 日（金）から 31 日（日）までの 3 日間とする。可能な限り 30 日（土）と 31 日（日）の 2 日間に主たる企画を置き、29 日（金）は関連集会や評議員会・理事会等を実施することとする。

5. 会場は、30 日（土）と 31 日（日）は主に北海道大学高等教育推進機構（旧教養部）を利用する。一部演習室などを除き全館を仮予約した。（担当は学務企画課会計担当、内線 5578、大場さん）

（1）ポスター会場は中心部の E 棟 2 階あるいは 3 階の教室（E207, 208, 209, 214, 215 など連続した教室、収容人数 70～115 名、机椅子は移動）を当て、すべてのポスターをここに集約する。

（2）他の口頭発表は別の階の教室（収容人数 70～115 名、机椅子は移動）あるいは大教室（N 棟 302、304 など階段教室、収容人数 160 名、机椅子は固定）を用いる。大教室は各学会が個別に総会、学会賞講演会などを開くことができる大きさである。

（3）3 学会全体が集まるような合同企画（下記）には大講堂（1 階、収容人数 450 名、机椅子は固定）を用いる。各学会の総会に利用することもできる。

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/aas/>

6. 29 日（金）は同じキャンパス内の学术交流会館（正門横）を利用する。大講堂と会議室を備える。申し込みは 2019 年 10 月 29 日から可能。（担当は資産運用管理課、内線 3905）

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/>

7. 懇親会は合同、会費も同額として、北大の北部生協食堂を利用する。目安ひとり 5,000 円（会場費を含む）。なお食堂の改修に日程がかぶる可能性があり、2020 年 1 月に改めて確認する必要がある。生協食堂が不調の場合、サッポロビール園などの利用を考える。

<https://www.hokudai.seikyou.ne.jp/foodservice/partyplan/flow.html>

<https://www.sapporo-bier-garten.jp/>

8. 参加登録と演題登録は、比較生理生化学会の参加演題登録システムを3学会で使うことが考えられる。プログラム集（予稿集）も合冊を検討する。参加費もできる限り同額としたい。その可能性と是非について、今後検討する。

9. 2019年10月から11月にかけて開かれる各学会に参加して意見を聞き取る。

次回の打合せのため、12月13日午後13時から16時まで、今回と同じく理学部5-913号室で集まることとした。ここで意見交換をしたものをもとに、2019年12月に3学会に対して骨格プラン（日程、場所、プログラムの大きな構造）を提示する。なお北大の事務担当者との連絡は松島に一本化して進める。

2019年10月4日

日本動物心理学会理事長 殿

日本動物心理学会名誉会員推薦状

日本動物心理学会「名誉会員推薦に係わる申し合わせ」にもとづき、理事会において大井修三先生を名誉会員として推薦していただきますよう、お願いいたします。

大井修三先生(満73歳)は、動物心理学会において1999年から2011年までの12年間にわたって理事を務められました。また、今日まで東京医科歯科大学、岐阜大学で教鞭をとられ、数多くの心理学者を育ててこられました。現在は、岐阜女子大学教授、東海学院大学客員教授として活躍されています。先生は、これまで動物心理学や生理心理学の幅広い研究を展開され、学習・記憶の生化学的基盤の解明に大きく貢献されました。

このように長きにわたって本学会や日本の心理学の発展に顕著な貢献をされました大井修三先生を、日本動物心理学会の名誉会員として推薦する次第であります。

日本動物心理学会 常任理事
筑波大学 小川園子

令和元年 10 月 7 日

日本動物心理学会理事長 殿

日本動物心理学会名誉会員推薦状

日本動物心理学会「名誉会員推薦に係わる申し合わせ」にもとづき、理事会において
實森正子先生を名誉会員として推薦していただきますよう、お願いいたします。

實森正子先生（満 70 歳）は、日本動物心理学会において 1995 年から 2017 年までの 22
年にわたって理事、同じく 1995 年から 2003 年までの 8 年にわたって編集委員（1999 年
から常任編集委員）を務められました。日本基礎心理学会の常任理事（編集担当）としても
心理学全体の発展のために活躍されました。先生は、慶應義塾大学大学院社会学研究科を修
了後、1979 年から 1981 年まで広島大学、1981 年から 2014 年まで千葉大学で教鞭をとら
れました。この間、動物のカテゴリ化や等価性をはじめとする比較認知研究で世界をリード
されました。

このように長きにわたって本学会や日本、そして世界の心理学の発展に顕著な貢献をさ
れました實森正子先生を、日本動物心理学会の名誉会員として推薦する次第であります。

日本動物心理学会 幹事

千葉大学大学院人文科学研究院・准教授

牛谷智一

<資料 10> 会則施行細則の改定案

現行：

日本動物心理学会会則施行細則（抄）

1. 事務所の所在

事務所を東京都文京区本郷7丁目2番2号本郷ビル3階に置く。

6. 役員の選出

- i. 選挙管理事務は理事会が指名する正会員若干名によって構成される選挙管理委員会が行なう。
- ii. 投票は所定の用紙を用いた5名以内連記，無記名の郵便投票とする。
- iii. 正会員の互選による理事は12名とする。
- iv. 当選の境界に同点者がいた場合には抽選とする。
- v. 理事会の推薦による理事は6名以内とする。

改定案（改定下線部）：

日本動物心理学会会則施行細則（抄）

1. 事務所の所在

事務所を東京都文京区水道2丁目13番4号ビクセル文京207号に置く。

6. 役員の選出

- i. 選挙管理事務は理事会が指名する正会員若干名によって構成される選挙管理委員会が行なう。
- ii. 投票は所定の用紙を用いた5名以内連記，無記名の郵便投票，または Web 投票とする。
- iii. 正会員の互選による理事は12名とする。
- iv. 当選の境界に同点者がいた場合には抽選とする。
- v. 理事会の推薦による理事は6名以内とする。